

第9回

エキサイトよこはま22

懇談会

平成30年5月24日

主な取組と今後の検討事項

- 横浜駅周辺を取り巻く状況
 - 西口周辺
 - 東口周辺
 - 治水対策
 - まちづくりガイドライン
 - 防災・エリアマネジメント
 - 今後の進め方

横浜駅周辺を取り巻く状況

横浜市全体の動き

「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」

《都心臨海部の機能配置とみなと交流軸・結節点の配置イメージ》

基本戦略 3

個性豊かなまちの
魅力をつなぎ港と共に
発展する都心づくり

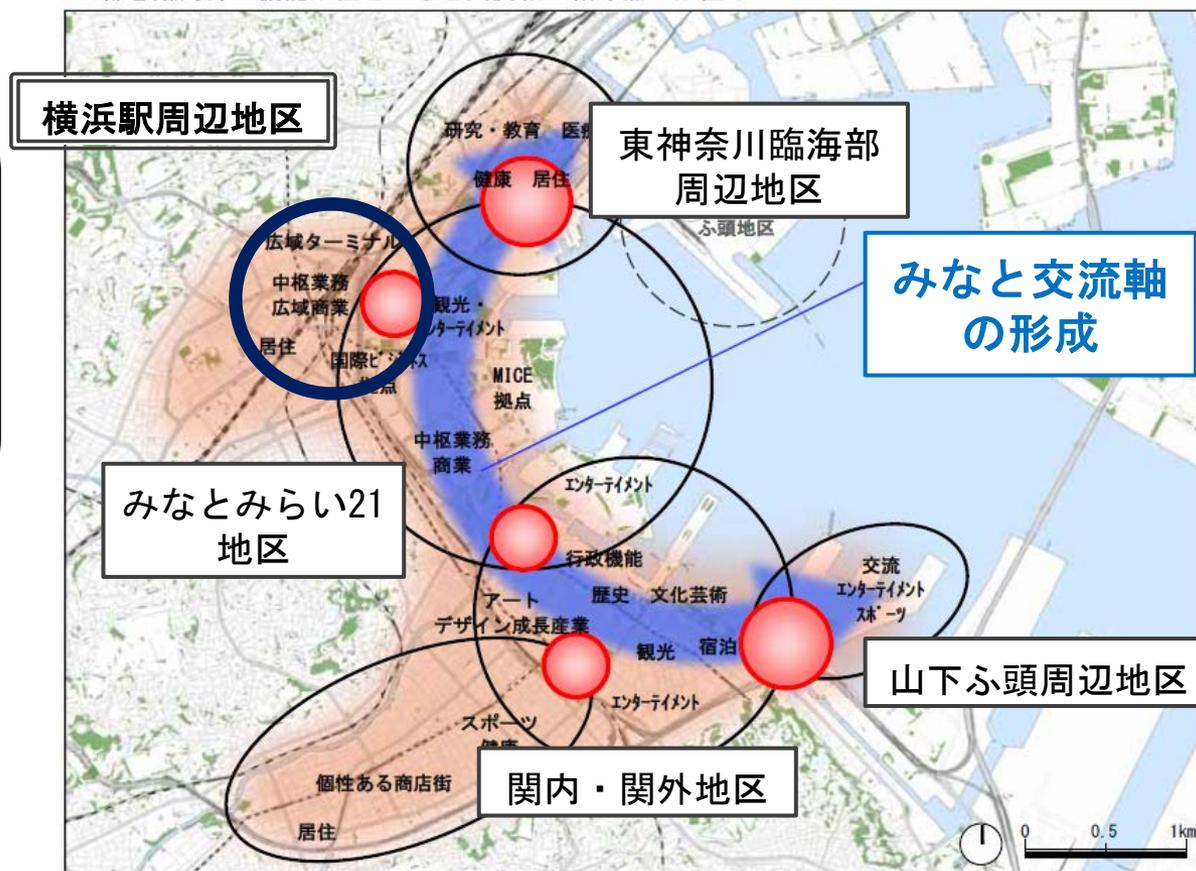
凡例



：みなと交流軸



：地区の結節点



「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」

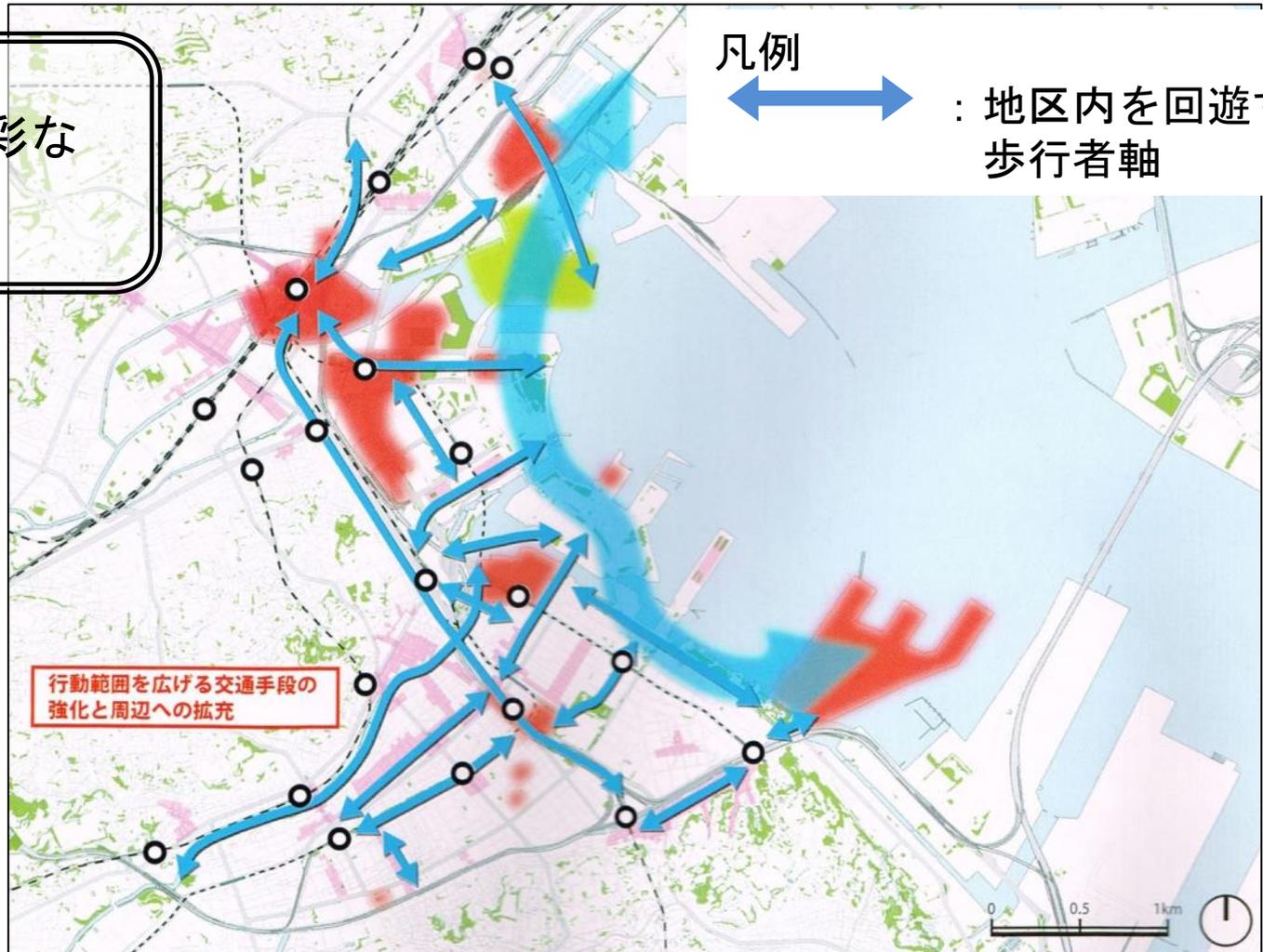
《将来の歩行者ネットワーク》

施策2
まちを楽しむ多彩な
交通の充実

凡例

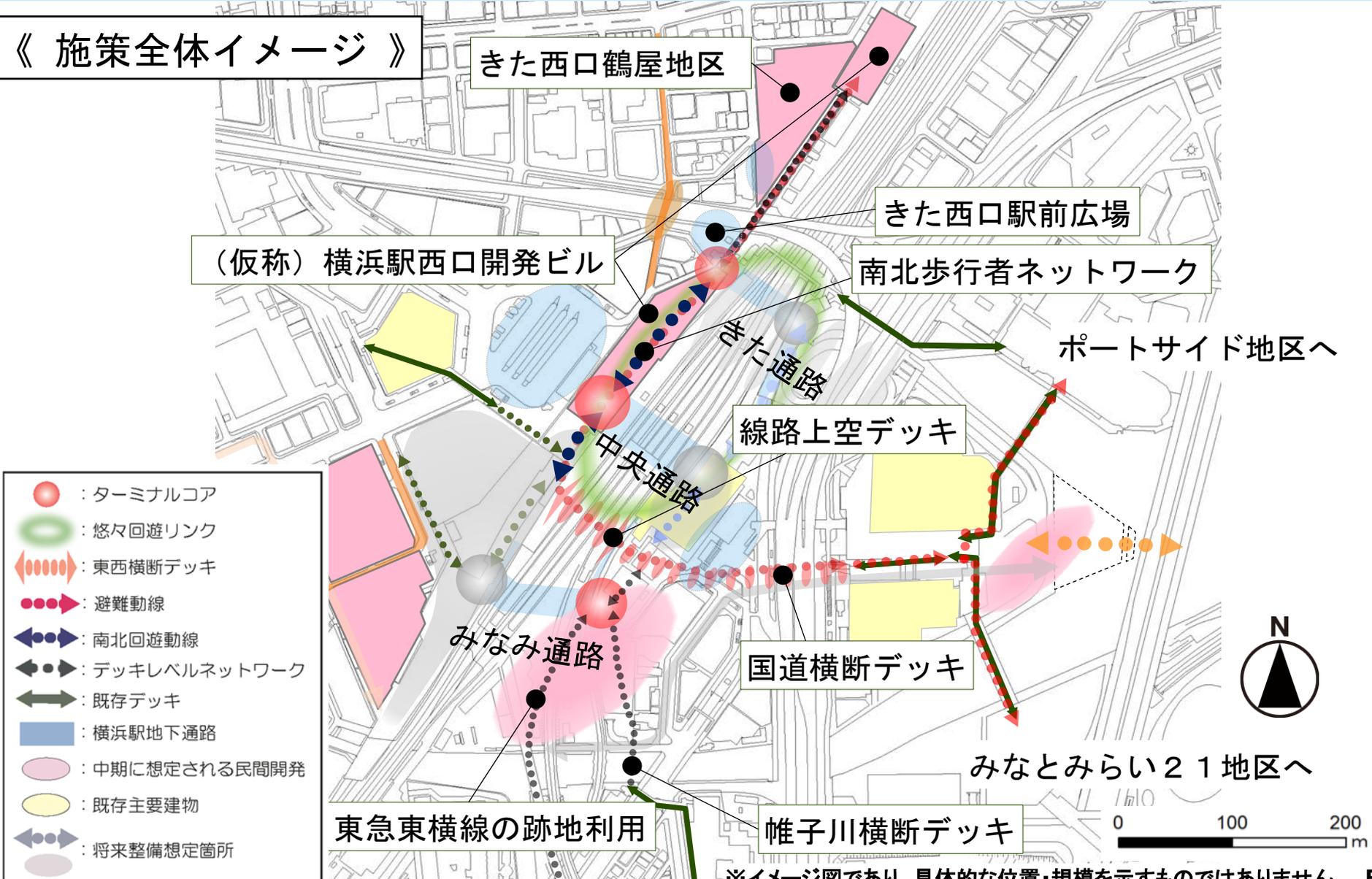


: 区内を回遊する
歩行者軸



横浜駅の基盤整備（歩行者ネットワーク）

《 施策全体イメージ 》



※イメージ図であり、具体的な位置・規模を示すものではありません。 5

地区をとりまく環境変化 ～みなとみらい21地区開発進展～

2019年 竣工予定
2017年度 記者発表

Kアリーナプロジェクト
(音楽専用アリーナ、ホテル等)
2022年度竣工予定



横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール移転プロジェクト
(展示場、店舗等) 2019年夏竣工予定

(仮称)京急グループ本社ビル
(展示スペース、事務所等)
2019年6月竣工予定



神奈川大学みなとみらい
キャンパス
(大学施設、研究施設等)
2020年11月竣工予定



(仮称)横濱ゲートタワープロジェクト
(事務所、店舗、プラネタリウム等)
2021年7月竣工予定



村田製作所みなとみらい
イノベーションセンター
(事務所、研究所等)
2020年9月竣工予定



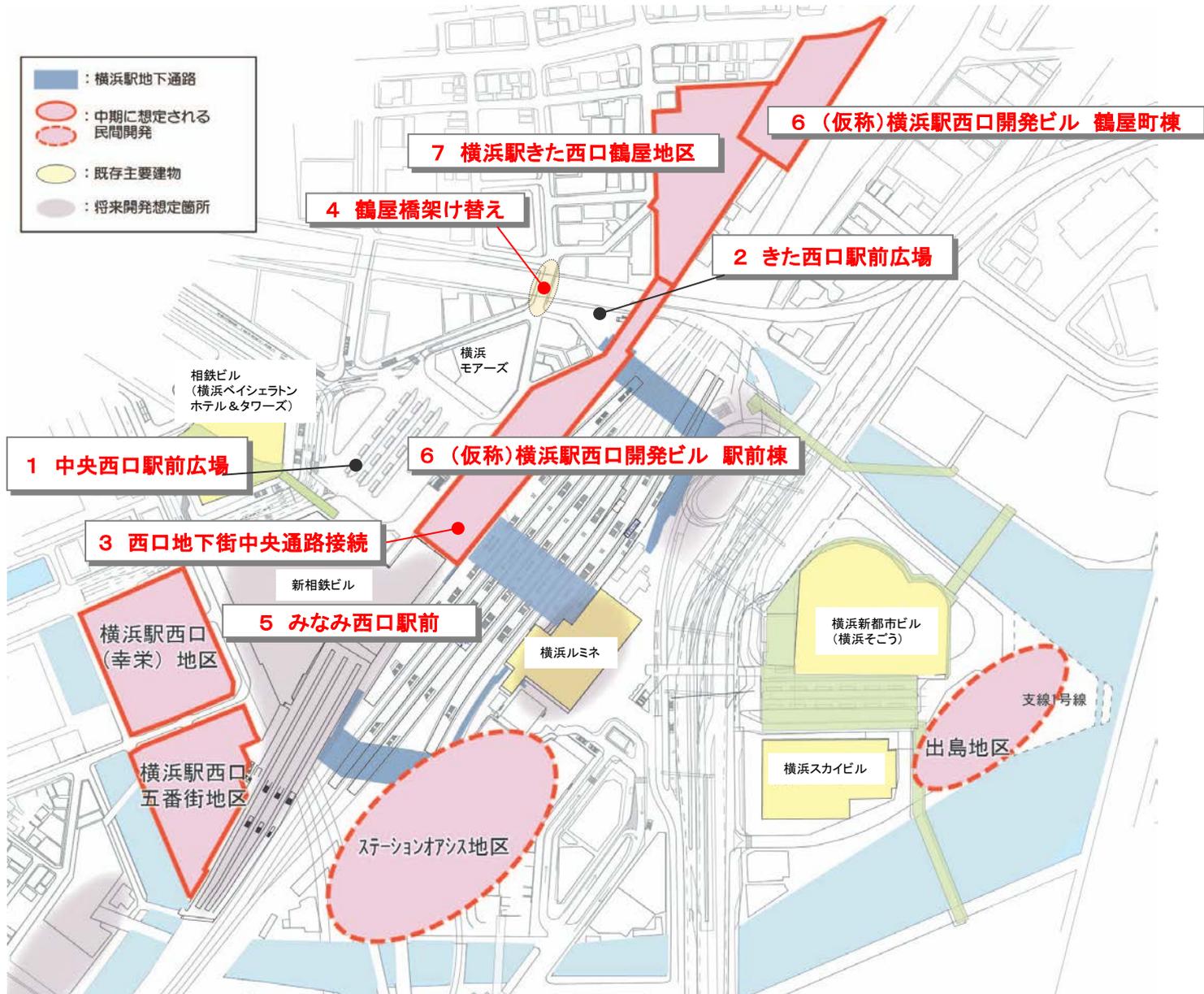
(仮称)資生堂グローバルイノベーションセンター
(事務所、化粧品研究所等)
2019年2月竣工予定



西口周辺

- **中央西口、きた西口駅前**
- **西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）**
- **鶴屋橋架け替え工事 みなみ西口駅前**
- **（仮称）横浜駅西口開発ビル**
- **国家戦略特区（きた西口鶴屋地区）**
- **観光バス対策**

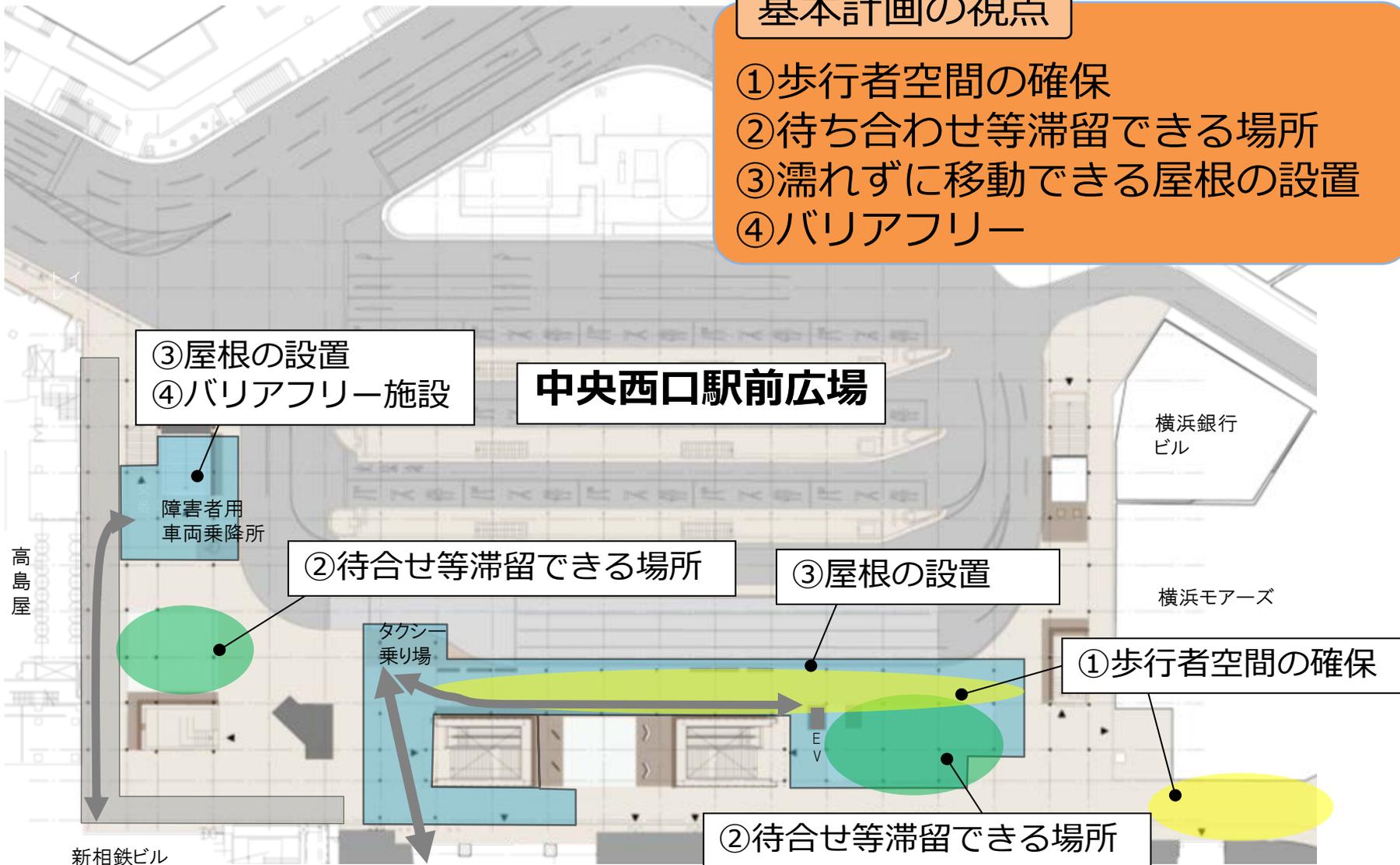
横浜駅西口周辺



1 中央西口駅前広場の基本計画

基本計画の視点

- ①歩行者空間の確保
- ②待ち合わせ等滞留できる場所
- ③濡れずに移動できる屋根の設置
- ④バリアフリー



※整備内容については、関係者との協議により、一部変更する可能性があります。

2 きた西口駅前広場の基本計画

[歩行空間]

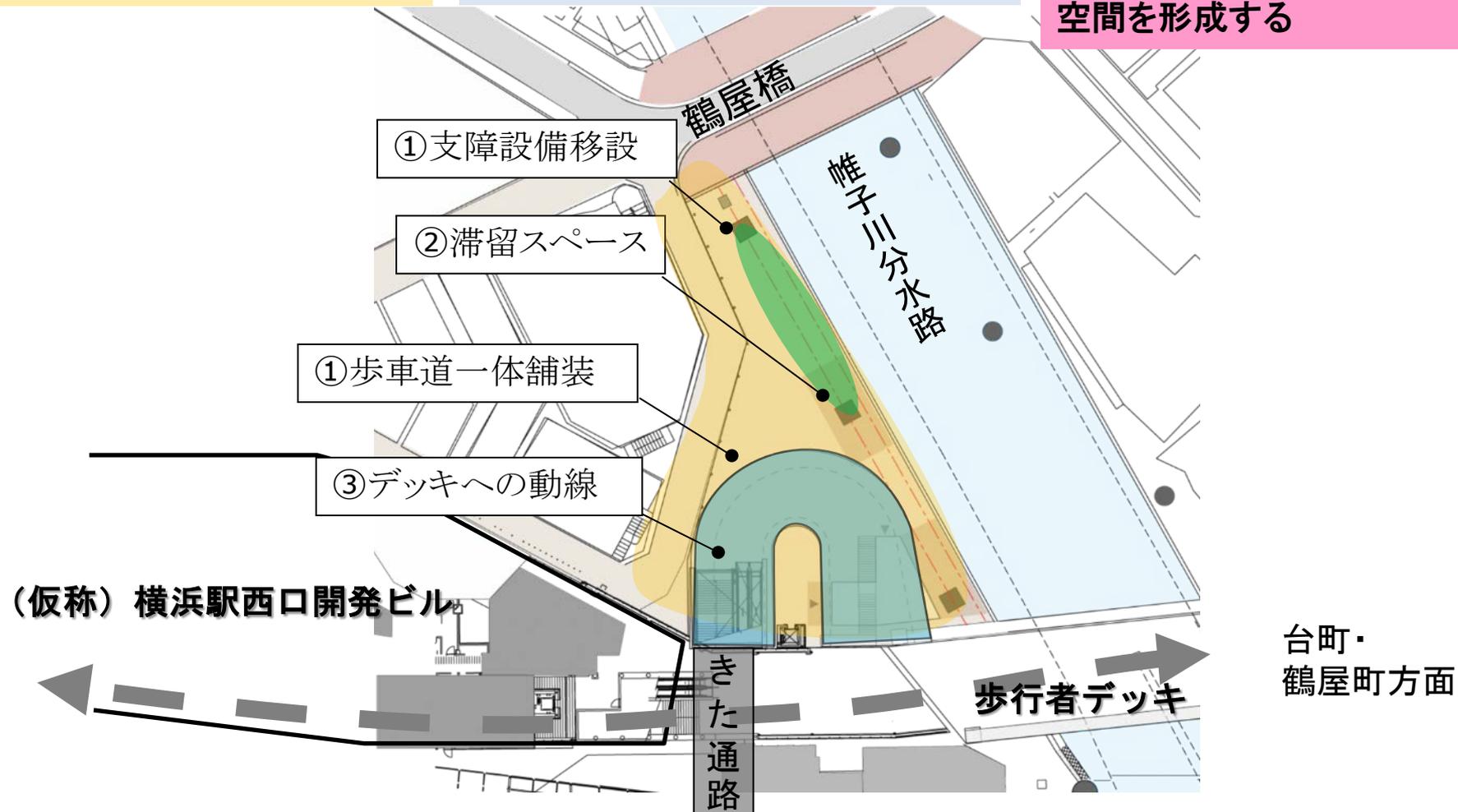
歩行の支障となるガスの変圧器などを移設するほか、歩行者空間を拡充する。

[河川沿い空間]

駅前広場と河川空間の近接性を活かし、親水性の高い活動空間をつくる。

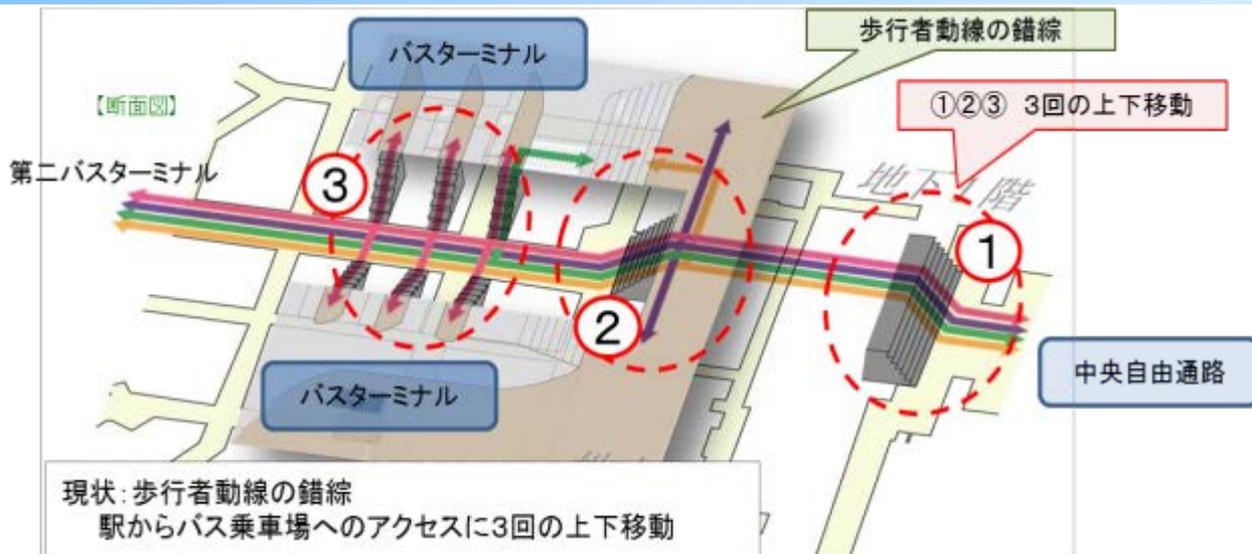
[ターミナルコア]

地下～地上～デッキを円滑につなぐとともに、出入口が視認しやすく開放性・健全性の高い空間を形成する

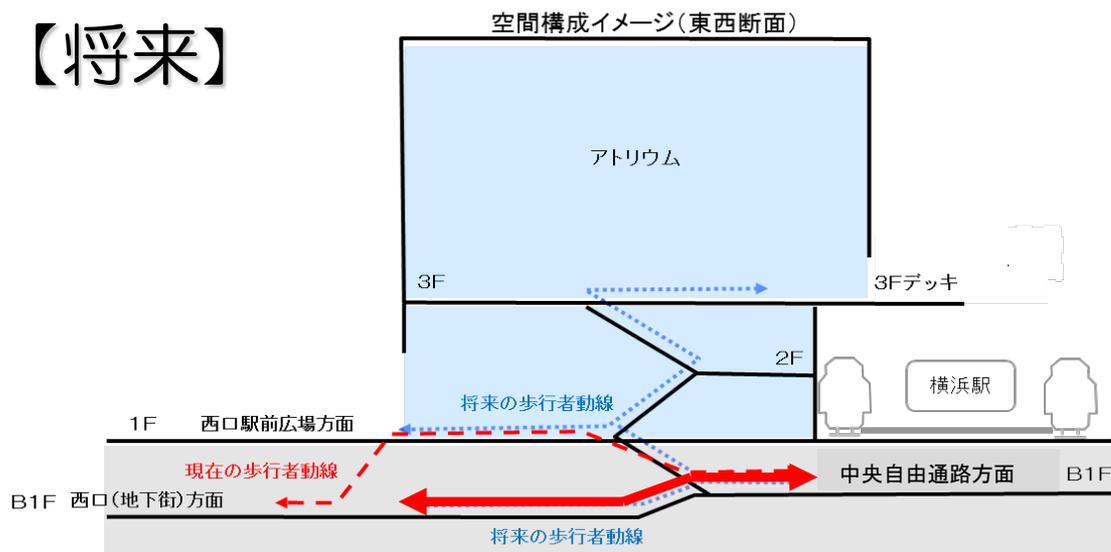


3 西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)

【現況】



【将来】



状況写真(南側階段)
(平成28年10月供用開始)

平成27年度 工事着手 平成32年 完成予定

西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)

お知らせ

3月6日(火)より**JR横浜駅**と
西口地下街との**仮地下連絡**
通路を**使用開始**します

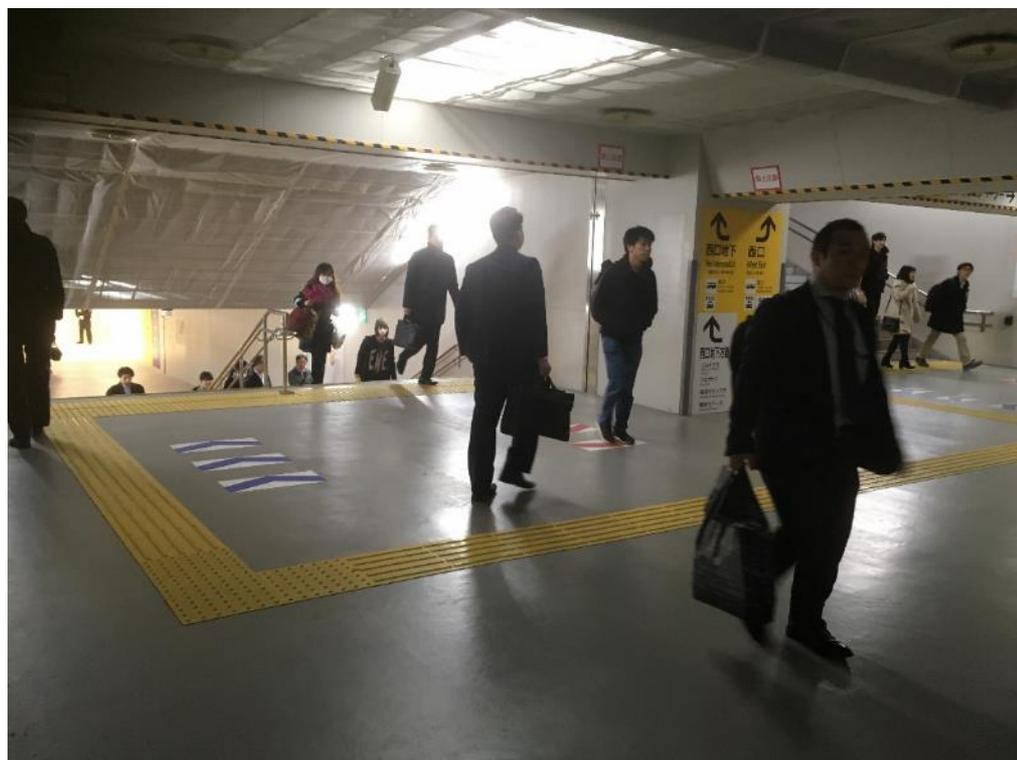


ご注意ください

仮地下連絡通路は、工事期間中のため階段のみのご利用となり、
5:30頃～23:00頃まで通行できます

引き続き、横浜駅西口地下街改修工事へのご理解とご協力をお願いします

地下通路一部開通



状況写真 (開通直後)
中央自由通路から西口地下街へ

4 鶴屋橋架け替え工事

(架替前)



(架替後)



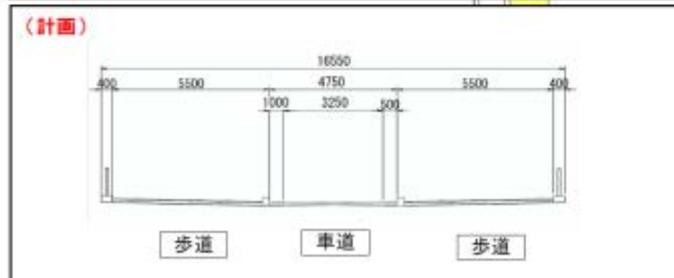
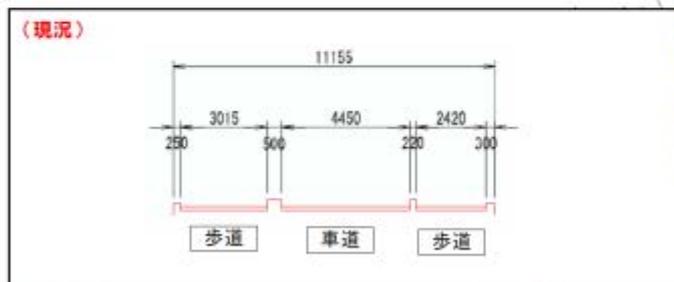
期待される効果

(1) 治水安全度の向上

(2) 歩行環境の向上

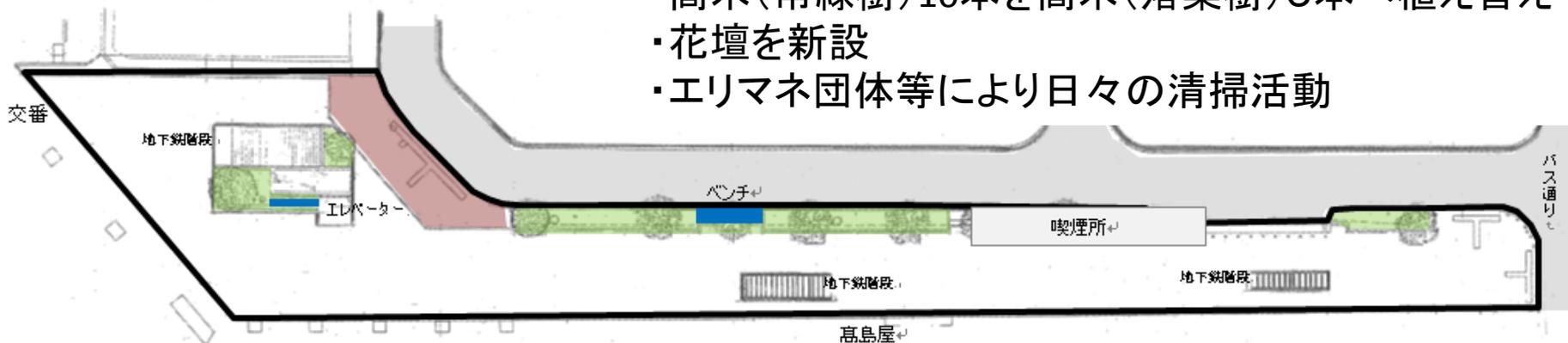
平成29年9月29日全面開通

(断面構成図)



5 みなみ西口駅前の再整備

- ・高木(常緑樹)10本を高木(落葉樹)5本へ植え替え
- ・花壇を新設
- ・エリマネ団体等により日々の清掃活動



整備前



整備後

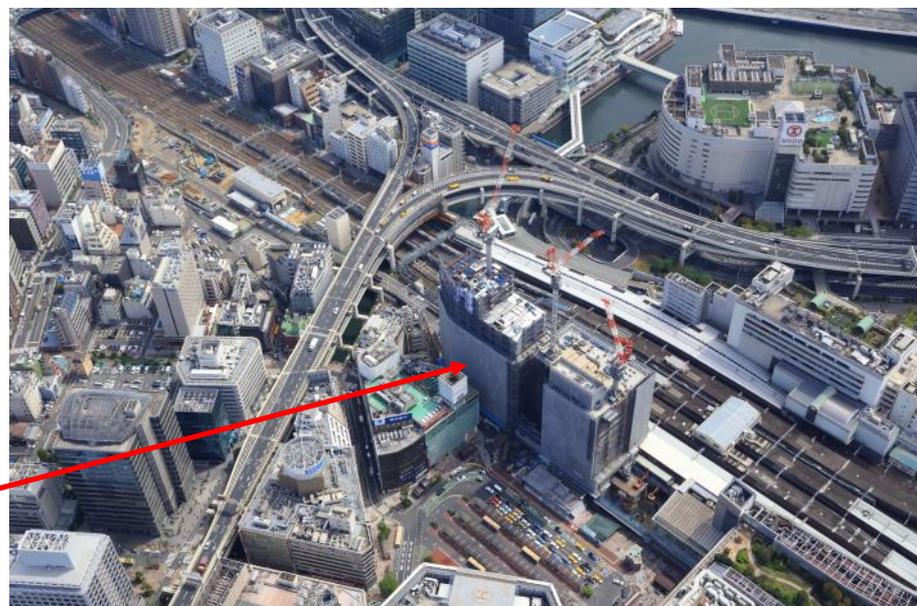
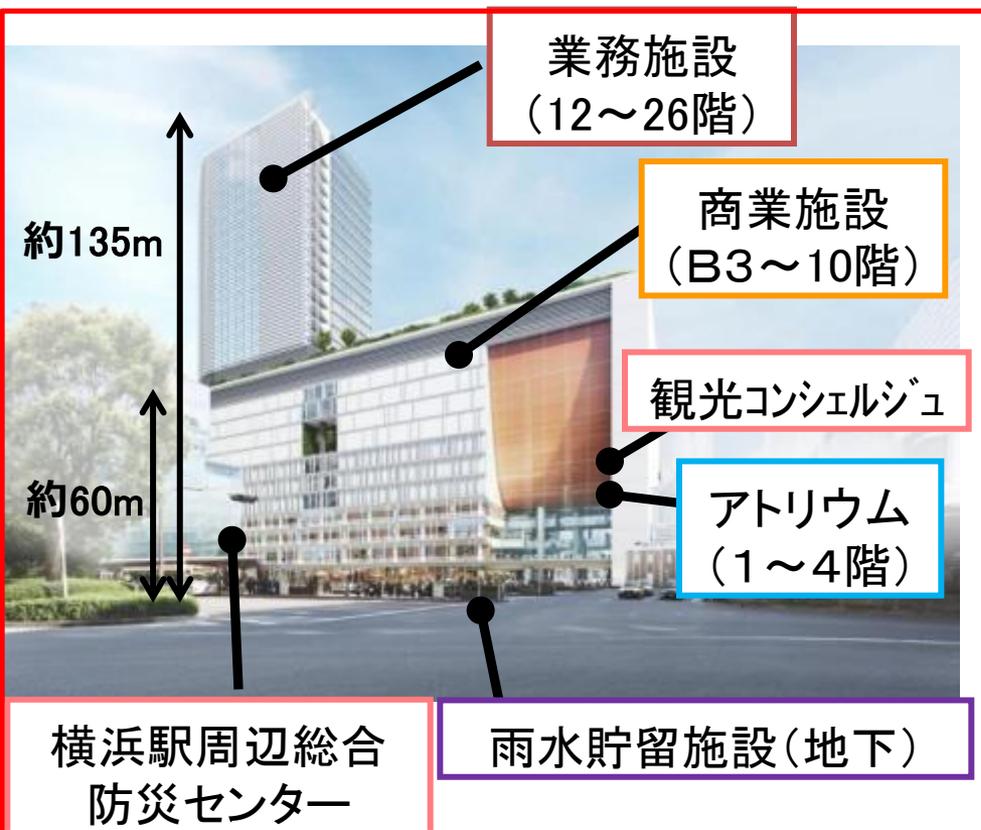


6 (仮称)横浜駅西口開発ビル(駅前棟)

○東京2020オリンピック・パラリンピック前の完成を目指しています。

- ・駅前棟着工式 : 平成27年10月19日
- ・工事完了 : 平成32年(予定)

建築物	駅前棟
用途	商業、業務施設等
階数	地上26階(建築基準法上30階)、地下3階



(仮称)横浜駅西口開発ビル(鶴屋町棟)

○東京2020オリンピック・パラリンピック前の完成を目指しています。

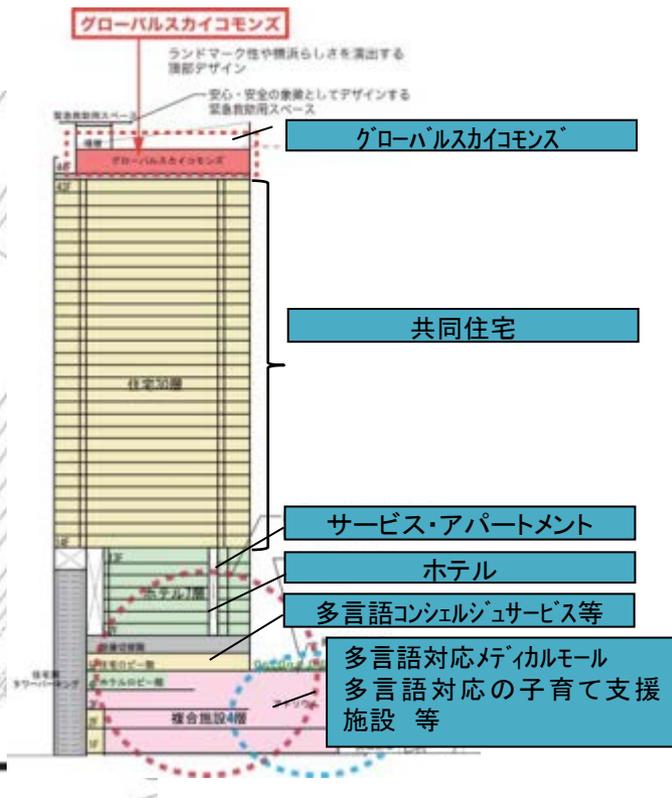
- ・ 鶴屋町棟工事着手：平成30年3月12日
- ・ 工事完了：平成32年(予定)

建築物	鶴屋町棟
用途	駐車場、保育所 商業施設、ホテル、 スポーツ施設
階数	地上9階



7 国家戦略特区(きた西口鶴屋地区)

- 平成28年9月9日 内閣総理大臣認定 (都市計画の決定・変更)
- 平成29年10月25日 市街地再開発組合設立認可
- 平成29年度 実施設計
- 平成30年度 権利変換計画認可、建築工事着工
- 平成33年度 竣工予定



観光バス対策

(バス事業者・旅行会社からなる一般社団法人による運営)

【貸切バスの集中】

- 道路交通環境の悪化
 - 駐停車禁止区域での長時間・二重駐車
 - ビル内外での乗降客滞留
 - 歩行者交通の阻害、トイレの無断使用・ゴミポイ捨て
- ⇒ **長年(10年以上)の懸案**



観光バス対策(ショットガン方式の導入)

取組の概要



バス
待機場所
tvk ecom park
(tvkハウジング
プラザ横浜)

駅周辺の既存施設を活用した
本格的な“ショットガン方式”
(バスターミナルの機能を分散配置)



乗客
待合場所
横浜ビブレ脇
公道



貸切バス
乗降場
旧 第2バス
のりば(西側)

【移設】
第3バス
のりば

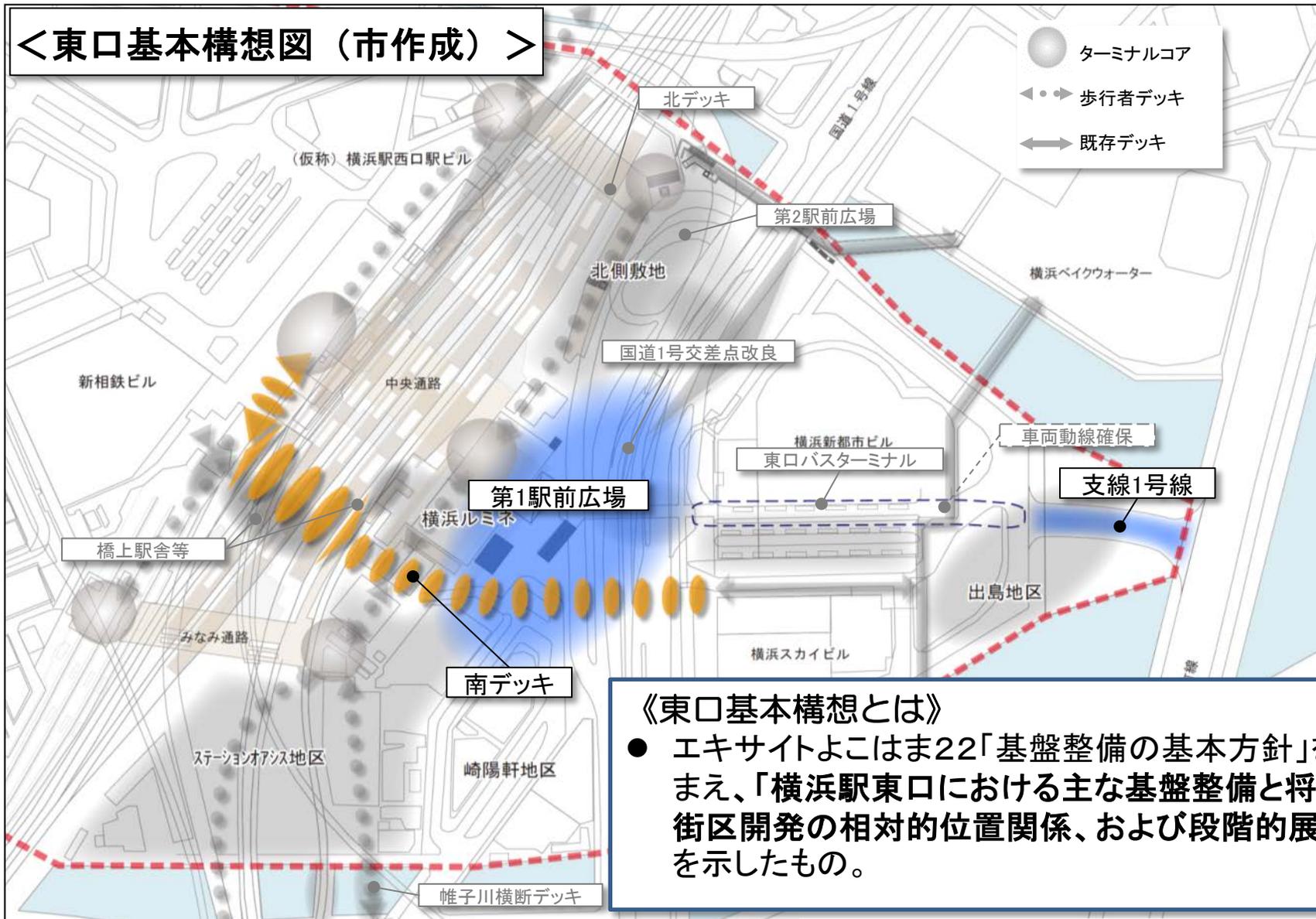


東口周辺

- 東口基盤整備の検討状況
- 横浜駅東口地区（ステーションオアシス）
- 東口駅前広場エスカレーター
- ベイクォーターウォーク屋根設置

東口基盤整備の検討状況

<東口基本構想図（市作成）>



《東口基本構想とは》

- エキサイトよこはま22「基盤整備の基本方針」を踏まえ、「横浜駅東口における主な基盤整備と将来の街区開発の相対的位置関係、および段階的展開」を示したものの。

※今後、この基本構想図を基に関係者と調整を進めます

横浜駅東口地区(ステーションオアシス)

- 横浜駅東口地区開発推進協議会では、平成29年度に実施した地質調査の結果を踏まえ、鉄道近接対策工の検討、概略設計や事業収支検討を行う予定です。
- ステーションオアシス地区を含む「横浜駅みなみ東口地区地区計画」を、平成29年7月14日に都市計画決定しました。

エキサイトよこはま22
横浜駅みなみ東口地区地区計画
(抜粋)



凡 例	
	地区計画の区域及び地区整備計画の区域
地区施設の配置及び規模	
	ターミナルコア 面積約500㎡
	歩行者用通路A (幅員6.0m 延長約40m)
	歩行者用通路B (幅員9.0m 延長約70m)
	歩行者用通路C (幅員13.0m 延長約50m)
	歩行者用通路D (幅員2.0m 延長約100m)
	歩行者用通路E (幅員4.0m 延長約120m)
	道路 (幅員4.0m 延長約120m)



※イメージ図であり、具体的な位置規模を示すものではありません

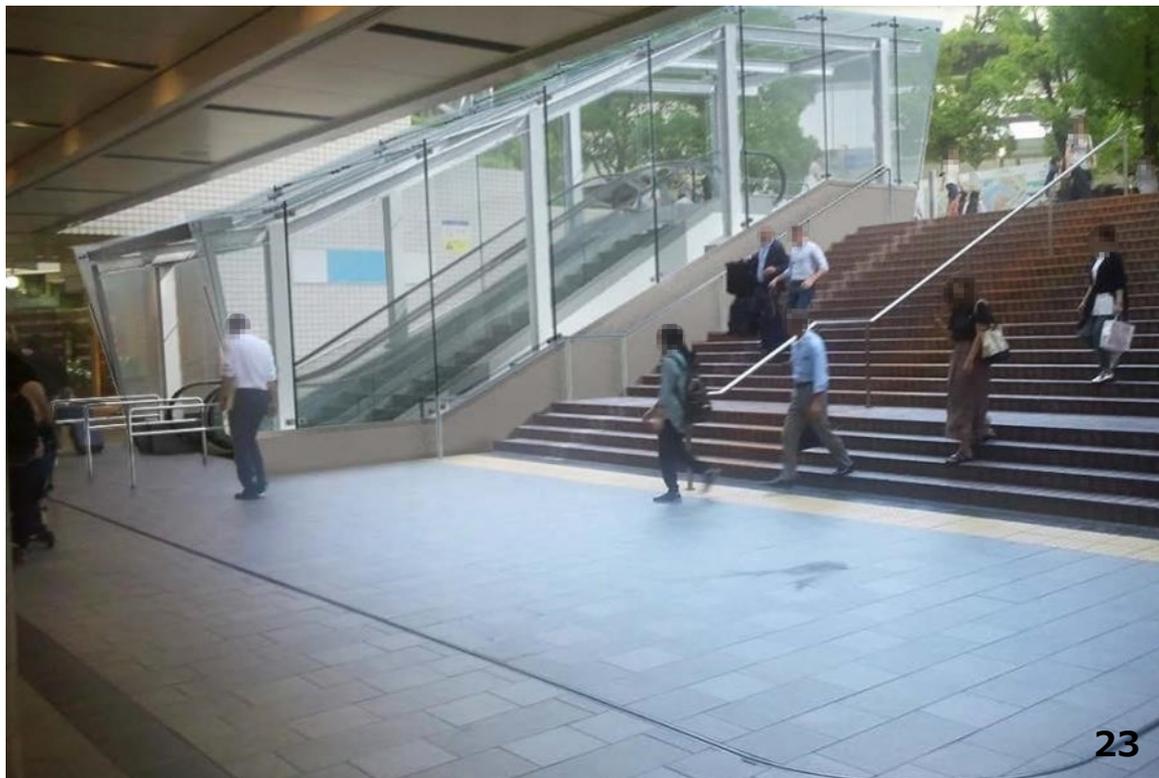
東口駅前広場エスカレーター

東口駅前広場エスカレーター新設計画について

- 新設場所：横浜駅中央通路と東口駅前広場の間の階段(横浜ポルタ3階段)
- 工事着手時期：2018年(平成30年)4月
 - * 工事中は大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願いいたします。
- 運転開始時期：2019年度(平成31年度)予定

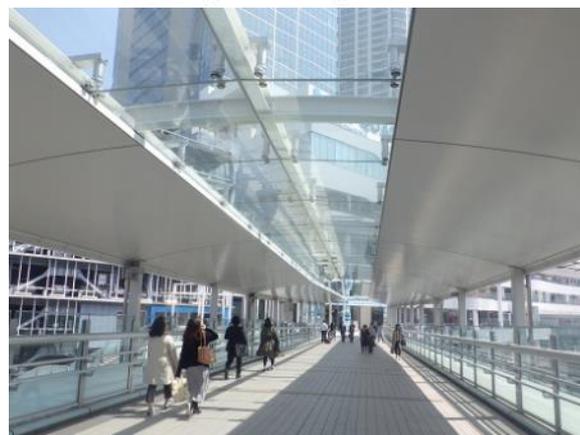
【設置場所】

【設置イメージ】



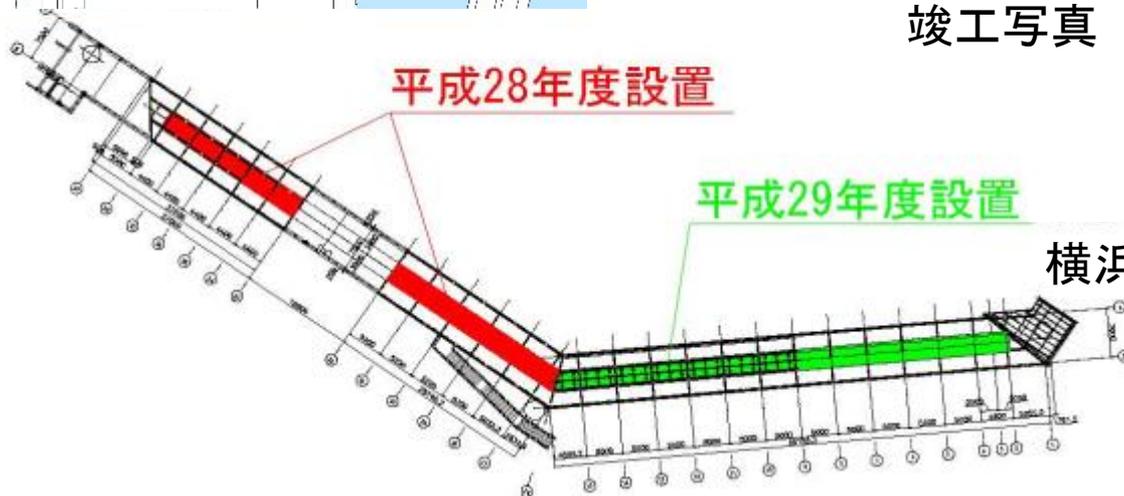
バイクォーターウォーク屋根設置

○横浜駅きた東口からポートサイド地区に渡るバイクォーターウォークにおいて中央部分の屋根を設置する工事を実施しました。



竣工写真

横浜駅側



横浜バイクォーター側

治水対策

- **治水対策（外水・内水対策）**
- **横浜市特定地域都市浸水被害対策事業**

治水対策計画

地下街、商業施設等が集積する東西のセンターゾーンの内水対策に官民連携で取り組みます。
 公共下水道の整備により時間74ミリの降雨(概ね30年に1度の確率で発生する降雨)に対応、さらに民間貯留施設の整備と併せて時間82ミリの降雨(概ね50年に1度の確率で発生する降雨)に対応した内水対策に取り組みます。

		第1ステージ(概ね10年)	第2ステージ(概ね10年～概ね20年)	将来
外水	河川	河川整備基本方針、整備計画の策定		
		河口部改修		
		設計・協議	鶴屋橋架け替え	まちづくりに合わせた 鉄道・道路橋梁架け替え
				河床掘削
安全度(※1)	概ね1/20	概ね1/50	1/100	
mm/hr	概ね65	概ね82	93	
内水と外水の連携		検討・調整		
内水	下水	内水対策計画の策定		
		設計・協議	センターゾーン+隣接地区 施設整備	
	安全度	1/10	センターゾーン+隣接地区: 1/30	
	mm/hr	60	74	
	開発にあわせた敷地内貯留	ルール確立 ・1/30→1/50 ・200㎡/ha	(仮称)横浜駅西口開発ビル	開発にあわせた敷地内貯留
安全度	1/10	センターゾーン: 1/50		
mm/hr	60	82		
災害に強い防災・減災まちづくり			開発、建替えにあわせた地盤の嵩上げ	
			宅地・道路面などの計画的な地盤の嵩上げ	

※1 河川の治水安全度は、横浜駅周辺(西口)における流下能力を示す。

流域全体の治水安全度向上に向けては、河床掘削のための橋梁部の対策が必要。

外水対策 河川改修・橋梁架け替え

桁下が河川の計画高水位より低い橋梁については、橋梁の架け替えに取り組みます。帷子川本川の橋梁群では、まず京急本線帷子川橋梁及び石崎川第一橋梁の架け替えに取り組みます。

〈浸水対策イメージ〉



〈帷子川本川の橋梁群(例)〉

開発に合わせた橋梁架け替え
横浜駅周辺の治水安全度向上を目指し、周辺の開発にあわせた橋梁の架け替えを行います。

○横浜駅周辺地区特定地域都市浸水被害対策事業の取組

(* 下水道法改正により国土交通省が創設した「浸水被害対策区域制度」を活用した国内初の取組)

1. 事業の目的

横浜駅周辺のまちづくり計画(エキサイトよこはま22)に合わせ、横浜駅周辺地区の浸水被害の防止を目指します。具体的取組としては、計画対象区域内に時間74ミリの降雨に対応する公共下水道を整備し、将来的には民間事業者による雨水貯留施設等の整備と併せて、官民が連携して時間82ミリの降雨への対応を目指します。

2. 事業の位置 計画対象区域:横浜駅周辺地区

3. 事業内容及び年度計画

(1) 事業内容

- ・公共下水道施設: 浸水対策計画策定、新規幹線・ポンプ場等整備事業、計画対象区域の浸水被害の防止に寄与する再整備・再構築事業等
- ・民間事業施設 : 雨水貯留施設等の設置

(2) 年度計画

		H29	H30	H31	H32	H33	将来
公共下水道施設	新規幹線・ポンプ場等						※1
	再整備・再構築等						※1
民間事業者による雨水貯留施設等					※2		
		(仮称)横浜駅西口開発ビル					

※1 本事業は、平成34年度以降も継続して取り組みます。

※2 本事業は、想定される民間開発の中で、継続して取り組みます。

まちづくりガイドライン

- ・ 「まちづくりガイドライン」の追加・修正

「まちづくりガイドライン」の追加・修正 地区別のガイドライン

項目	センターゾーン	鶴屋町地区	南幸地区	北幸地区	平沼地区
都市機能の導入・育成	○	○	○		
都市景観の形成	○	○	○		
立体的な歩行者ネットワークの構築(ターミナルコアの整備)	○				
環境分野	○	○	○		
防災・防犯分野	○	○	○		
歩行者・親水空間分野、交通環境分野			○		



エリア毎にデザインコンセプトが策定されている。
(西口駅前案、線路上空案、きた西口)

地元の皆様方とワーキンググループを立ち上げて西口駅前と東口のデザインコンセプトを取りまとめました。(資料3)

防災・エリアマネジメント

- ・ 防災の取組
- ・ エリアマネジメントの推進
- ・ 公共空間の活用によるまちの賑わいづくり
- ・ その他

防災の取組

民間と行政が連携し、地震や水害などの災害に強い
防災・減災まちづくりの取組を行っています。

・河川空間を利用した防災訓練（幸川）



（災害発生時舟運訓練）

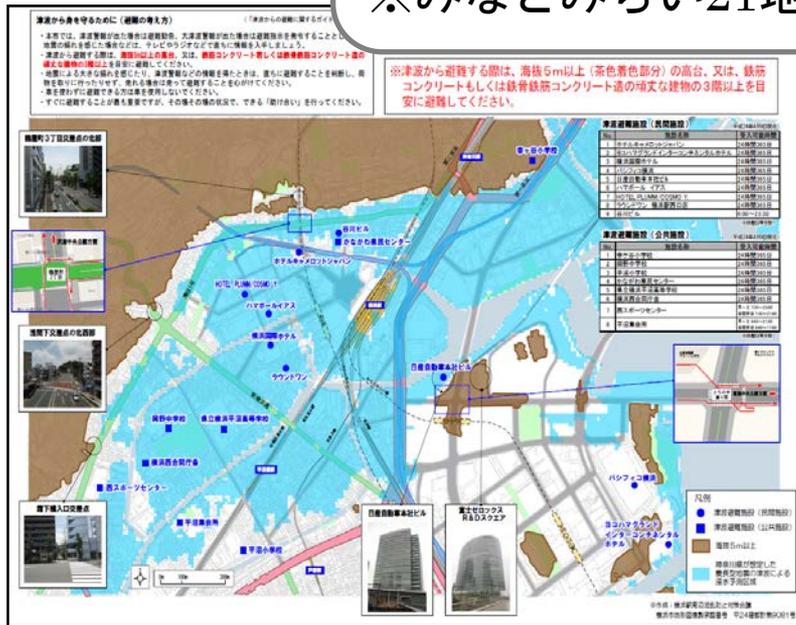


（水難救助訓練）

防災の取組

- ・津波時の避難誘導指針の改定
- ・津波・地震等の避難マップの改定

- ◇ 主な改定点
 - ・高台(北、西側)避難方向の明示とシンプル化
 - ・危機管理室の津波避難情報との整合
- ※みなとみらい21地区への避難誘導を見直し



(改定前)



(改定後)

津波避難マップの改定

防災の取組



(改定前)



(改定後)

主な変更点

- ・ マップ名称変更
- ・ シンプル化

滞留者・帰宅困難者避難マップの改定

・ 横浜駅周辺都市再生安全確保計画改定の検討

エリアマネジメントの推進

ラグビーワールドカップ2019™、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組み

横浜駅構内・周辺の案内サイン
更新にあたってのデザインや記載方法の検討



横浜駅きた通路・みなみ通路に
フリーWi-Fi整備

- 平成30年3月1日開始
- 24時間365日対応
- 1回30分以内、5回／日まで
- 13か国語対応

ロゴマーク

SSID
YOKOHAMA_Free-Wi-Fi
※現地にロゴステッカー提示

エリアマネジメントの推進

① 「はまマネ協議会」の各団体イベントに対する支援

＜横浜駅東口はまテラス有効活用委員会＞



＜(一社)横浜西口エリアマネジメント＞



② 「はまマネ協議会」によるイベントの開催

＜津波浸水域ウォーク＞



＜東口クリーンアップイベント＞



＜西口クリーンアップイベント＞



公共空間の活用によるまちの賑わいづくり

道路空間を活用した賑わいづくり



<みなみ西口駅前>



<パルナード通り>

その他：横浜都心部コミュニティサイクル事業 「ベイバイク」

センターゾーン内の横浜駅東口周辺に、
ベイバイクのサイクルポート（貸出・返却拠点）を設置予定



センターゾーン



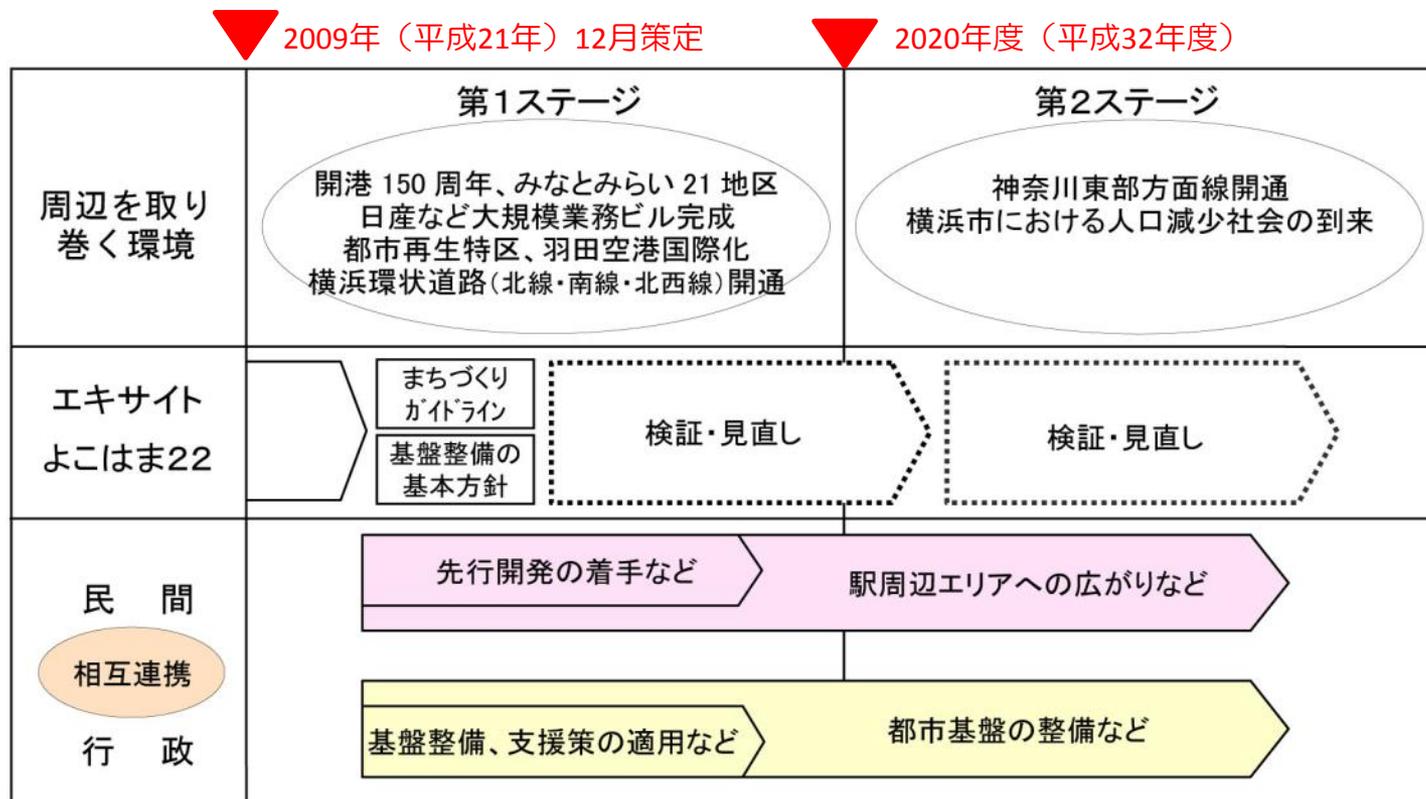
サイクルポート設置検討エリア

※ 設置にあたっては歩行者の安全に十分配慮します

今後の進め方

エキサイトよこはま22今後の進め方

2020年度（平成32年度）までを第1ステージとして捉え、引き続き「エキサイトよこはま22」の振り返りなどについて検討していきます。



まちの成長とあわせた民間と行政の相互連携した取組み

（第1ステージ・本計画とりまとめ以後概ね10年、第2ステージ・それ以後概ね10年）